

リバイバルセミナー内容紹介①

投票No.	開催年	講演内容	講師所属	講師
1	2010	糞便・尿の異常 糞便および尿の肉眼的異常、検査法とその意義について解説。さらに糞便・尿の異常を特徴とする頻発疾患とその治療法についても詳しく解説されている。鳥類臨床の基本中の基本の内容となっている。	横浜小鳥の病院	海老沢 和荘 先生
2	2010	筋・骨格系の異常 筋骨格系の異常に対し、視診、触診、X線検査の方法と注意点を解説。骨折・脱臼の治療として手術手技および投薬内容、テーピング法を紹介。基本的な、はばたきのメカニズムについても解説されている。	水上犬猫鳥の病院	水上 昌也 先生
3	2010	呼吸器症状 呼吸器の生理解剖学的特徴から、呼吸様式を解説。呼吸様式および呼吸音から呼吸器症状を分類。上部気道症状（生理的、URTD）と下部気道症状（LRTD、甲状腺腫、LRTD以外の原因による気嚢拡張障害）に対する検査法と診断、治療までを網羅した内容となっている。	鳥と小動物の病院リトル☆バード	小嶋 篤史 先生
4	2011	症状から考える鑑別診断「嘔吐」 嘔吐/吐出という症状からフローチャートを基に検査法の選択から鑑別疾患を挙げ、その20項目について、検査所見と治療法（外科・内科）を併せて解説する。	横浜小鳥の病院	海老沢 和荘 先生
5	2011	どうしたらいいの？ 遺伝子検査 遺伝子検査（PCR）とは？から始まり、メリット・デメリット、検査可能な項目、必要な検体量と適切な採材部位を解説。またそれぞれの感染性疾患の概要と、遺伝子検査の統計データ（陽性率、年齢分布等）について報告されている。	小鳥の病院BIRD HOUSE CBL	眞田 靖幸 先生
6	2011	どうしたらいいの？ 遺伝子検査 健康診断での遺伝子検査項目の選択法を鳥種と飼い主の要望に応じて選択できるようになっている。発症時は、それぞれの症状について疑われる項目を検出頻度の高い順に紹介されている。	鳥と小動物の病院リトル☆バード	小嶋 篤史 先生
7	2012	鳥が診察に来たらまず何をすればいいの？ 鳥を診察するために、何が必要か。心構えから、診療の流れ、身体検査のリスク判定、捕獲方法、視診・触診のポイントを多数の画像と共に解説されている。	横浜小鳥の病院	海老沢 和荘 先生
8	2012	「鳥の感染症トピックス（PBFDとクラミジアを中心に）」 オウム病とクラミジアの歴史と分類、性質、感染経路および臨床症状、鳥種別の陽性率が報告されている。また、PBFDについては、Q&A方式で基本的な性質から、検査法、採材法、陽性率等について解説されている。	小鳥の病院BIRD HOUSE CBL	眞田 靖幸 先生
9	2013	飼い鳥の毛引き症・自咬症－基礎と治療－ 毛引き症(羽毛損傷行動(FDB))、自咬症(自傷行動(SMB))の原因となるストレスの種類と発症の要因となる「生まれ」と「育ち」の問題について詳しく解説されている。また人の自傷行為の嗜癖化のプロセスから鳥での嗜癖化のプロセスの仮説を立て説明されている。最後に実際の診療現場での原因特定のための手順を紹介し、治療法と共に解説されている。	横浜小鳥の病院	海老沢 和荘 先生
10	2013	X線検査の基礎－レントゲンを撮るために－ X線検査の基礎知識から、美しい写真を撮影するためのポイント、撮影時の保定法、正常画像、典型的な疾患画像の読影までを解説した鳥類のX線検査に必要な知識を網羅した内容。	水上犬猫鳥の病院	水上 昌也 先生
11	2013	鳥類の麻酔法－麻酔はかけられる！－ 鳥に麻酔をかけるために必要な解剖生理の知識から具体的な麻酔導入、維持の方法までを解説。また、麻酔のリスク評価についても詳しく説明している。	吉塚ペットクリニック	伊勢 健一郎 先生
12	2014	コンパニオンバードの画像診断パート2 具体的な症例を用いて、超音波画像診断装置によりどのようなことが診断できるのか解説している。また、鳥類の超音波画像診断に適したプローブや機器の設定についても説明している。	水上犬猫鳥の病院	水上 昌也 先生
13	2014	コンパニオンバードの発情抑制 発情により引き起こされる問題を解説し、それを予防するための発情抑制方法を紹介している。また、発情徴候の把握方法について	滝沢犬猫鳥の病院	滝沢 直樹 先生
14	2014	明日から役に立つ骨折治療の基本 骨折の検査、評価および治療法について説明している。特にピンニング手術に関して詳細に解説している。	バーズ動物病院	西谷 英 先生
15	2015	コンパニオンバードの画像診断パート3 鳥のX線検査で問題となるアーチファクトとその対策、腹部膨隆症例のX線検査・超音波画像検査について詳細に解説している。特に繁殖関連疾患については豊富な写真を用いて説明している。	水上犬猫鳥の病院	水上 昌也 先生
16	2015	鳥種別 セキセイインコ学 セキセイインコの分類と品種、野生化での生態、飼い鳥としての特徴、健康診断でみるべきポイント、多い病気などセキセイインコの診察をするために必要な知識を網羅した内容。	小鳥の病院BIRD HOUSE	眞田 直子 先生
17	2015	動画セミナー:どうするタマゴ詰まり!?(セキセイインコ他) 産卵システムと卵塞症の原因の説明から始まり、卵塞症診断のポイントおよび卵排出処置について詳細に解説している。	バーズ動物病院	西谷 英 先生

リバイバルセミナー内容紹介②

投票No.	開催年	講演内容	講師所属	講師
18	2016	インコ・オウム類の基礎栄養学	小鳥の病院BIRD HOUSE	眞田 直子 先生
		コンパニオンバードに必要な栄養とエネルギーを紹介し、シード食とペレット食それぞれのメリットとデメリットを解説している。また、栄養性疾患についても説明している。		
19	2016	鳥種別 オカメインコ学	鳥と小動物の病院リトル☆バード	小嶋 篤史 先生
		人気飼い鳥であるオカメインコについて、分類学、生態学、生理解剖学、飼育学、幼鳥から高齢鳥までの各ステージにおける日常診療でよく遭遇する疾病学までを幅広く網羅した内容。		
20	2016	こんな時どうする！？「ザ・出血！！」	パーズ動物病院	西谷 英 先生
		鳥類の救命救急において比較的救命率が高い『出血』に対処できるよう、循環血液量について、安全採血量について、血液中の止血に関わる血球について、止血機構、凝固カスケードについて学び、実際に遭遇する様々な出血に対して具体的な止血方法を複数紹介している。		
21	2016	こんな時どうする！？「猛禽類ver.WILD RAPTOR」	鳥と小動物の病院 falconest	伊澤 伸元 先生
		保護された猛禽類を野生復帰させる上で重要である『羽根の温存』のため、おすすめの収容・輸送方法、保定方法、衰弱個体への対応方法、給餌量や給餌方法などと搬入時に確認すべき検査について学ぶことができる。		
22	2017	鳥種別 ラブバード学	ふじさわアビアンクリニック	牧野 幾子 先生
		セキセイ、オカメに続き、ラブバードとはどんな鳥かを詳しく解説。分類学、品種について、生息地について、セキセイやオカメとのレントゲン像の比較、幼鳥から成鳥の飼育方法、餌について、健康診断での検査内容について、よく遭遇する疾患についてなどを網羅した内容。		
23	2017	Stop the 肥満 ～肥満の問題とその対処(フォーミングを中心に)について～	滝沢犬猫鳥の病院	滝沢 直樹 先生
		飼い鳥に多い肥満について、肥満関連疾患について解説し、ダイエットの具体的なやり方、注意点、食事制限開始後のストレス軽減にもなるフォーミング、トレーニングの実践方法について学ぶことができる。		
24	2017	先生！便が水っぽいのですがどうしたらよいでしょうか？ ～鳥の多尿と下痢の鑑別診断と治療について～	横浜小鳥の病院	加藤 律子 先生
		飼い主さんからよく聞く主訴の『水っぽい便をしている』は下痢が多尿か判別できるよう、排泄物とその機構について解説、下痢と多尿の肉眼的違いや必要な検査、鑑別診断の流れと治療についてまとめている。		
25	2018	羽毛損傷行動の原因と治療	横浜小鳥の病院	海老沢 和荘 先生
		アニマルウェルフェアの観点から羽毛損傷行動について学ぶことは大切で、羽毛損傷行動の原因、不快と異常行動との関連、ストレス、個性、鑑別診断と治療について詳しく解説している。		
26	2018	オウムインコ類の羽色と疾患	鳥と小動物の病院リトル☆バード	小嶋 篤史 先生
		オウムインコ類の羽根の色について、色素による色と構造色とで発色原理の違い、組み合わせた時に認識される色について詳しく解説。異常羽毛の推測される発生機序、推測される病態生理、不明点と関連疾患、治療についてまとめている。		
27・28	2018	羽毛の感染性 (PBFD・BFD) 疾患	小鳥の病院BIRD HOUSE CBL	眞田 靖幸 先生
		羽毛の感染性 (PBFD・BFD) 疾患	小鳥の病院BIRD HOUSE	眞田 直子 先生
		PBFD、BFDについて、原因、感染する鳥種、感染経路、増殖する場所、診断方法、肉眼および組織病変について、治療と隠転化、陽性率、臨床症状、鳥種による違い、感染による羽毛の形態変化、鑑別疾患、治療方法、予後、隠転率、治療率、予防、消毒		
29	2019	幼鳥ってなんだろう？ ～幼鳥の定義から問題点まで～	パーズ動物病院	西谷 英 先生
		幼鳥を学ぶにあたりまずは幼鳥を定義。幼鳥の診療にあたり重要となる生理的な特徴について、特に臨床上問題となることの多い栄養や免疫を中心に解説している。さらに親鳥やヒトによる育雛のメリットとデメリットに言及し、育雛における雛の評価方法にまで触れる内容。		
30	2019	幼鳥の疾患 ～感染症と免疫学～	岐阜大学 獣医微生物学教室	福士 秀人 先生
		幼鳥において頻発する感染症について、主に病原体となる微生物学的な側面から解説している。幼鳥のみならず鳥類を診療するうえで必ず把握しておきたい内容となっている。免疫学については、学術的な情報が限られる中で、鶏で知られる母子免疫を紹介している。		
31	2019	幼鳥の育て方 ～正しいヒナの育て方とは？～	横浜小鳥の病院	加藤 律子 先生
		講演の前半では、西谷先生の講演でも触れられた、育雛方法ごとの利点、欠点を栄養学的観点や行動学的観点など、さらに詳細な視点で解説。後半からは人工育雛の具体的な方法を実際の個体を見ながら解説する実践的な内容となっている。		
32	2019	幼鳥の診療 ～非侵襲検査を中心に～	鳥と小動物の病院リトル☆バード	小嶋 篤史 先生
		実際に幼鳥が来院した際の診療方法について、チェックポイントや注意事項を挙げながら解説。手技や所見の取り方は成鳥の診療にも通じるところも多く診療の一助となる内容である。さらに幼鳥で頻発する具体的な疾患について幅広く網羅している。		
33	2019	幼鳥のタスケカタ ～森下小鳥の場合～	森下小鳥病院	寄崎 まりを 先生
		ここまでの講演を踏まえて、実際に病院に来院した症例を挙げ、具体的な診断、検査、治療にまで踏み込んだ、最も実践的な内容となっている。嘔吐や黄尿のセキセイ、くしゃみや削瘦のオカメ、ゲチヨ音のコザクラ、脚弱ブンチョウといった、日常的によく遭遇する症例を紹介している。		